

## 国連グローバル・コンパクト 2006 年度活動実績

アマタ株式会社

### 1) 『人権』に関して

- ・セクシュアルハラスメント防止方針を定め、企業としてセクハラを許さないことを宣言するとともに、セクハラに該当する言動例を示し、社員が利用できる相談窓口を通知しました。
- ・育児短時間勤務制度を改善し、子育て中の社員がより利用しやすいようにしました。具体的には、利用可能な期間を、子どもの小学校 1 年生 1 学期が終了するまでに延長するとともに、勤務形態の制限を緩やかにしました。
- ・こころの悩みを持つ社員に対して、休職や勤務時間短縮など個別に対応し、個々の状態に応じた復職プログラムを実施しました。
- ・社員が、病気や災害、家庭の事情などで一時的に多額の出費がある場合に利用できる「社員貸付金制度」を整備しました。
- ・通常の労災保険に加えて、社員生命保険と傷害保険に加入しました。これにより、社員に万一のことがあった場合に、遺族に一定の補償を行ったり、就業中の事故に対してより手厚い補償が行えるようになりました。
- ・反社会勢力（暴力団など）による不当要求には応じないことを宣言し、遭遇した場合の対応についてマニュアルを整備、社員に配布し啓蒙に務めました。

### 2) 『労働基準』に関して

- ・役員や社員が、自分の専門性や業務知識、仕事観を後輩に伝える「アマタスクール」を開講しました。初年度は、自部署で修得できる専門知識や会計知識、PC スキルなど全 18 講座を設置しました。
- ・社員が自分の思いを自由にかたちにしてできる「創発プロジェクト」という仕組みを立ち上げました。ちょっとしたアイデアから事業企画まで提案内容は幅広く、計 106 件のエントリーがありました。書類選考やプレゼン大会を経て、8 件の提案に対して活動資金がありました。
- ・社員がもっている資格（業務に関連するかを問わず）を一覧表にまとめ、自己啓発を奨励するとともに、各自の得意分野が見えるようにしました。
- ・社員の代表と、経営側代表とが参加する「カンパニー・ミーティング」を継続して開催し、働きやすい職場について話し合いました。

### 3) 『環境』に関して

- ・持続可能な森林経営を認証する FSC 認証事業に加えて、アジアで先駆けて MSC 漁業認証事業を開始しました。これは、乱獲による世界的な水産資源の枯渇傾向を食い止めるために、「持続可能で適切に管理された漁業」を認証する制度です。

- ・廃棄物管理に携わる人々に正しい知識を広め、環境問題を未然に防ぐために、研修サービスや通信教育サービスを開発し展開しています。
- ・実践的な環境教育イベントを企画し顧客に提案、四国4県の高校生を対象に、4日間のフィールドワーク・ワークショップ合宿を運営しました。
- ・経済産業省より「3R製品普及促進に関する新たな方策の検討事業」の委託を受け、再生繊維等によるエコバッグのデザインコンテストを開催しました。
- ・産業廃棄物の再資源化提案やサポートを継続して行い、この分野で、売上を前年度対比29.1%拡大しました。

#### 4) 『腐敗防止』に関して

- ・内部監査、コンプライアンス監査を継続して行い、腐敗防止の啓蒙に努めています。
- ・昨年度設置したCSR委員会を中心に、各部署の業務にともなう課題やリスクをピックアップし、対策検討や取組みを開始しています。